

『人権一般に関する直接的指導のタイプ』  
本郷小学校 第5学年保健体育科学学習指導案

1 単元名 心の健康

2 単元の目標

- (1) 心の健康について、課題の解決に向けての話し合いや学習活動に進んで取り組もうとすることができる。(関心・意欲・態度)
- (2) 心の健康について、課題の解決を目指して、これまでの経験や学習活動をもとに考えたり、判断したりすることができる。(思考・判断)
- (3) 心は年齢に伴って発達すること、心と体は相互に影響し合うこと、不安や悩みの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動するなどいろいろな方法があることを理解することができる。(知識・理解)

3 単元観

心は、いろいろな生活体験や学習を通して、年齢に伴って発達していく。心の発達には人とのかかわりや自然とのふれ合いなどのさまざまな経験が欠かせない。そのような経験から、感情、社会性、思考力などのはたらきが発達していくことを理解させたい。また、心と体は互いに深く影響し合っていることを理解し、心身共に健全な成長をしていこうとする気持ちをもたせたい。

高学年になると、不安や悩みをかかえる児童も多くなってくる。不安や悩みはだれもが経験することであり、自分に合った方法で対処していけばよいことを理解させ、明るく前向きに行動できるようにしていきたい。

4 指導計画(総時数 3時間)

- (1) 心の発達 1
- (2) 心とからだのつながり 1
- (3) 不安や悩みがあるとき 1(本時)

5 人権教育との関連

本単元では、心は年齢に伴って発達すること、心と体は相互に影響し合うこと、不安や悩みの対処にはいろいろな方法があることを学習する。自分の心についての理解を深めることで、相手の心を理解しようとする態度も養われると考える。よって本単元は、本校の人権教育で育てたい能力・態度「相手の気持ちや立場に共感し、思いやりの心をもつことができる。(感受性)」につながるものと考ええる。また、「自分に合ったいろいろな方法で不安や悩みを対処できること」や「人とのかかわりが心の発達につながることを理解することは、「友達と共に考え、協力し合って問題を解決することができる。(実践力)」につながるものと考ええる。

6 本時の指導

- (1) 題目 「不安やなやみがあるとき」
- (2) ねらい

不安や悩みはだれもが経験することであり、そうした場合には、自分に合ったいろいろな方法で対処できることを理解することができる。

(3) 人権教育の視点

不安や悩みがある人にどんな言葉をかければ良いか考える活動を通して、相手の気持ちに共感できるような思いやりの心を育てたい。(感受性)

(4) 展開

◎人権教育上の配慮

| 具体目標                                                                                                                                                             | 学 習 活 動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 教師の支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の学習課題がわかる。</li> <li>・ 不安や悩みについて考えることができる。</li> <li>・ 不安や悩みの対処法について、グループで発表することができる。</li> <li>・ 学習のまとめができる。</li> </ul> | <p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>不安やなやみでこまったとき、どうすればいいか話し合おう。</p> </div> <p>2 不安や悩みは、まったくないほうが良いのか考え、話し合う。</p> <p>3 不安や悩みを抱えたとき、自分はどうしているかグループで話し合い、発表する。</p> <p>①自分が経験したことがある対処法を付箋紙に書く。</p> <p>②付箋紙に書いた対処法をグループで発表する。</p> <p>③お互いの対処法の良さを話し合う。</p> <p>4 本時の活動をふり返る。</p> <p>①不安や悩みに対して自分はどう対処したいか考える。</p> <p>②不安や悩みがある人に、どんな言葉をかければ良いか考える。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学生の不安や悩みには、どんなことが多いのか予想させ、クラスのアンケート結果と教科書のアンケート結果を確認する。</li> <li>・ アンケート結果や教科書の内容から、だれもが不安や悩みをもっていることやいろいろな不安や悩みがあることに気付かせる。</li> <li>◎いじめや差別など人権に関わることを悩みにつながっている場合もあることを例示する。</li> <li>・ 「ないほうがよい」という考えに対してどう思うか児童に問いかける。</li> <li>・ 教科書 P9 の「みんなで生きる」を扱うことで、人とのかかわりが豊かな心の発達につながることをおさえる。</li> <li>・ 本時のねらいにせまるために、思春期は不安や悩みが増える時期であることや、不安や悩みと向き合うことが心の発達につながることをしっかりと理解させる。</li> <li>・ 自分の経験を思い出させたり、教科書の内容を参考にさせることで、いろいろな対処法を引き出す。</li> <li>・ あくまでも自分に合った対処法の発表なので、どの方法が良いかという話し合いにならないように注意する。</li> <li>◎お互いの考えのよさを認め合えるように声をかけ、支援する。</li> <li>◎相手の立場を考えて、思いやりのある言葉かけができるように促す。</li> <li>・ それぞれのよさを見取り賞賛する。</li> </ul> |

#### (5) 考察

- ・保健体育科としての本時の目標をしっかりと押さえつつ、人権教育のねらいを達成することをねらって授業展開を考えたが、時間配分がうまくいかず、対処方法を話し合う場面や悩んでいる友達にどんな言葉をかけるか考える場面に、十分な時間をとることができなかった。
- ・本時の導入時に、本学級の児童の抱える悩みについてのアンケート結果を知らせたことは児童の興味関心を高めるのに効果的だった。また、悩みの原因として「いじめや差別などの人権に関わることがつながっている場合がある」ことを例示したことは、人権教育に視点を当てた授業として効果があった。
- ・グループワークを取り入れ、互いに認め合いながら話し合いを行うことで、望ましい人間関係の構築や自己有用感の向上を図ったことはよかった。
- ・人権教育上の配慮として互いの意見を認め合うように指示を出したが、人権を侵害するような対処方法（例 八つ当たりするなど）があったので、そのような意見が出た場合の扱い方を考えておいた方が良かった。
- ・不安やなやみをもった友だちにどんな言葉をかけるか考えさせることで、相手の気持ちや立場に共感しようとする態度や思いやりの気持ちの育成を図った。「不安やなやみがある友だちに、どんな言葉をかけるか」という問いに対して、友だちに寄り添った言葉を書く児童が多かった。不安やなやみは誰もがもつものであることを理解し、自分が言われたら安心する言葉を考えた結果であると考えられる。

#### 資料 1

児童の意見（ワークシートより抜粋）

○ 不安やなやみがある友だちに、あなたならどんな言葉をかけますか。

- ① 最近、友だちにさけられているような気がする。わたしはどうしたらいいの。
  - ・ 友だちにさけるわけを聞いてみたら？私もいっしょに聞いてあげるよ。
  - ・ 私もいっしょに行くから、勇気を出して話し合おうよ。
  - ・ 大丈夫？なやみがあったらなんでも言って。
  - ・ 先生に相談してみようよ。
- ② このごろ、学校の勉強がわからなくて、不安でしかたない。どうしよう。
  - ・ いっしょに予習、復習しよう。
  - ・ 大丈夫だよ。ぼくも学校の勉強がわからなくて不安だったときがあるから。
  - ・ 失敗しても大丈夫だよ。
  - ・ 先生や友だちに相談してみるといいんじゃない？

心の健康

「不安やなやみがあるとき」

名前 ( )

○不安やなやみはまったくないほうがいいのかな・・・？

( ) まったくないほうがよい。

( ) あったほうがよい。

理由

○不安やなやみをかかえたとき、友だちはどうしているのかを聞いて、自分にも合いそうな方法はあったかな？

<まとめ>

○今後、不安やなやみをかかえたとき、どのように対処したいと思いますか？

○不安やなやみがある友だちに、あなたならどんな言葉をかけますか？

①

最近、友だちにさけられているような気がする。わたしはどうしたらいいの。

②

このごろ、学校の勉強がわからなくて、不安でしかたない。どうしよう。